

県民センター
設立8周年

6・8 東日本大震災 8年のつどい

これが復興なのか

人間・暮らしの復興を！

東日本大震災から8年が経ちました。

震災などなかったかのような仙台市街。しかし沿岸部に行けば、被災地は寒々とした整備地が広がり、高層の災害公営住宅が建っています。

住宅再建もままならず、災害公営住宅に入居したものの、高い家賃で出ていかざるを得ない被災者。一見なんの被害もなかったように見える家宅で修理しきれず不自由な暮らしに耐える被災者。健康を害する被災者。そして増加し続ける孤独死…。被災地は日本社会の暗部の縮図のようです。

苦闘つづく宮城の復旧復興の現状から震災からの復興のあり方を考えます。

記念シンポジウム

パネリスト

- NHK仙台放送局 チーフ・ディレクター **中関 武志** 氏
NHKスペシャル「終のすみかと言うけれど…」など数多くの震災番組の制作に携わり、復興のあり方を問い続けています。
- 元大阪経済大学教授 **遠州 尋美** 氏
1月に発行された「東日本大震災 100の教訓」出版企画委員会事務局長をつとめ、「人間の復興」への提言を行っています。
- 一般社団法人 チーム王冠代表理事 **伊藤 健哉** 氏
2011年以来、石巻に拠点を置き、特に在宅被災者の支援活動に取り組んでいます。
- ◆ ファシリテーター **水戸部秀利** (医師・県民センター世話人)

2019年

6/8 (土)

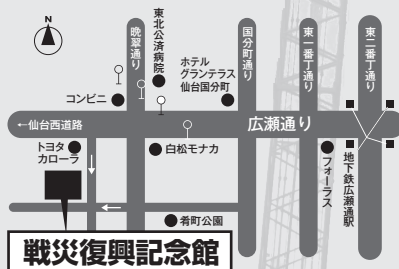
参加費
無料

13:30~17:00 (開場・受付 13:00~)

会場

仙台市戦災
復興記念館
ホール

仙台市青葉区大町2丁目
12-1
電話 022-263-6931



被災当事者、支援者の方々をはじめ、震災復旧・復興に携わっている方、復興の在り様に関心や疑問をお持ちの方などでも参加いただけます。ご参加の皆さんとともにこれからの「人間の復興」の在り方をご一緒に考え合ひましょう。多くの皆様のご参加をお待ちします。